

遠い過去
彼女は紛れもなく
微動だにしない偶像だった

近親強姦（きんしんごうかん）

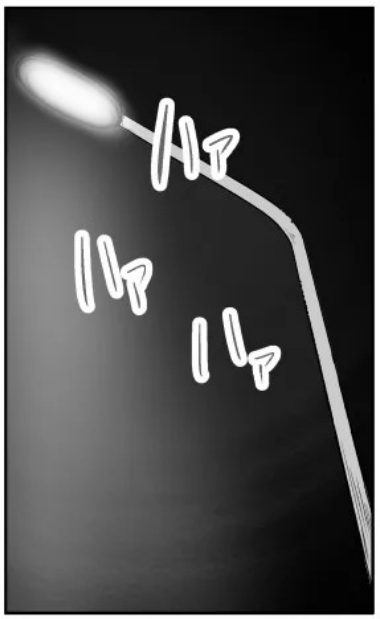
あの幽霊斎（※本物）


わかってるよな？
誰にも喋るなよ？




むぐぐッ・・・！
レイプされたなんて
誰かに喋ってみろ
どうなるか
言わなくてもわかるよな？
約束・・だぞ？
パン
パン
パン
パン
パン
モゾ…
カシャ…
コク
コク
フーッ
フーッ


さっき犯った女で
かれこれ五人目だったかな
そろそろ足の洗い時
…だろうな




沢本優也
●校二年生
レイプ常習犯
この日
人知れず俺は
罪過に塗れた日々と
決別しようと考えた
犯行を重ねる毎に高まる
"足が付く可能性"
これ以上は　そのリスクを
許容できそうにないと思ったからだ


ただいま…


おかえり
遅かったのね
えっ
そ　そう?


優也あんた・・・
ちょっといいかしら？
えっ
な　なに？
母さん・・・？
ん！
サッ
え・・・
スマホ？


いや～ナイスタイミングだわ
あんた！
悪いけど今すぐ
コレ届けてきて～
山脇さんにっ
は　はあ？
マジで勘弁してくれよ
警察が訪ねて来たとか
そういう話かと思ったじゃないか
プルプル


――って　ちょっと！
山脇さんって　もしかして
最近こっち引っ越して来たっていう？
そうよ～　さっきまで
ウチでお茶してたんだけど
それ忘れて帰っちゃってさ
もう届けるって連絡入れちゃったし
頼んだわよ孝行息子！
いや　俺まだ山脇さんの
顔も見たことないんだけど？
だったら丁度いい機会じゃない
ついでに挨拶してらっしゃいよ
すぐそこなんだから
とか言って
自分が面倒になっただけのくせに
ンま～っ　なによ！
じゃあ　おかーさんに
夜道歩いてけってのの!?
痴漢されたらどうするの!?
え？　ふふっ
キッ
あぐっ！
さ・れ・る・わ・よ！
絶対!!
さ　されるッ
される！
ねっ！
ぐぐぐ…
んじゃお願いねっ！

……

あ〜もう
お父さん帰って来ちゃうわ

もうチャーハンで良っか！
瓶ビールでも付けときゃ文句ないっしょ

シュッ

つい今しがた自分の息子が
女をレイプして帰ってきたことなど知る由もなく
ただ淡々と日常をこなす親の姿を見ると
さすがにこんな俺でも罪悪感を掻き立てられてしまう

今までは日々生活しているうちに
自然と後ろめたさが薄れていったけど…
何事もやり過ぎはよくないのか
近頃はやけに尾を引く感じがする

？

ふきふき

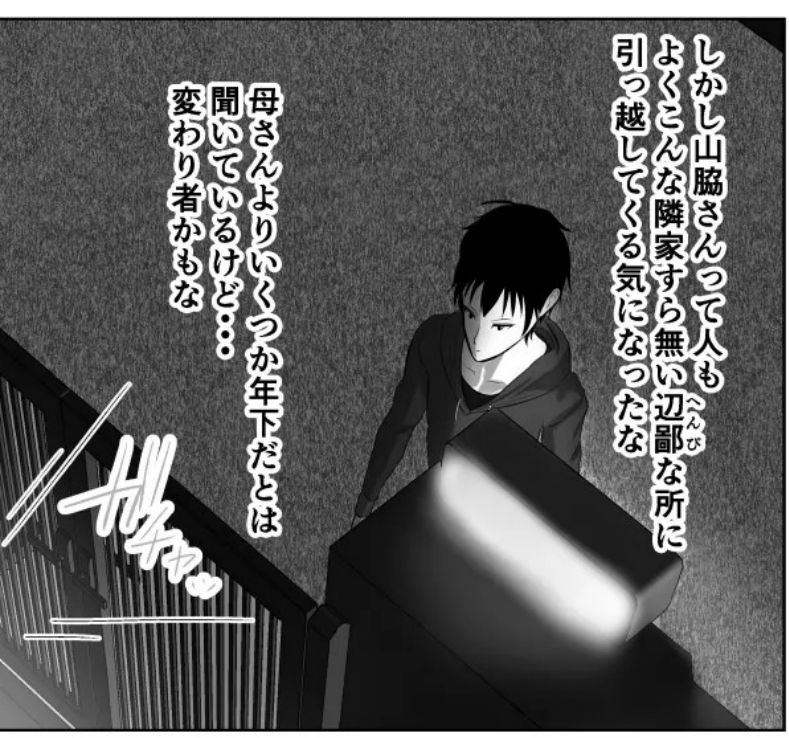
ちょっとぉ
なにボケっとしてんの　あんた
届けてくれるんでしょ？

やっぱりもう
足を洗うタイミングなんだ

えっ
あ
うん


ピンポ～ン


こんばんわ
沢本ですけど――
山脇
あっ　すみませんっ
すぐ行きます！


しかし山脇さんって人も
よくこんな隣家すら無い辺鄙な所に
引っ越してくる気になったな
母さんよりいくつか年下だとは
聞いているけど…
変わり者かもな


わざわざ
すみません～！
さっき沢本さんから再度
連絡頂いたところで…
えっと　沢本さんの
息子さん…ですよね？
トタタ…

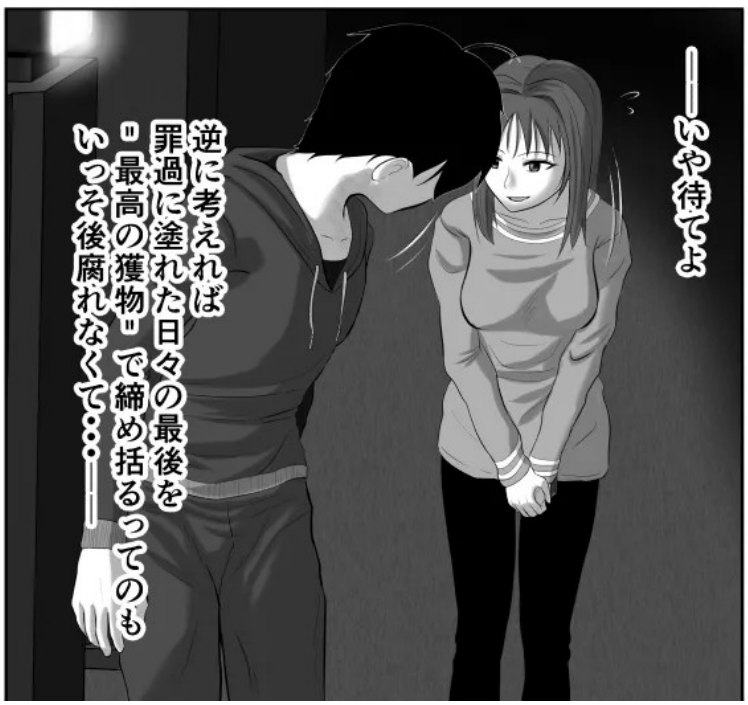

え…
あ…はい


あのっ　コレ
あっ　ありがとうございます
私ったら
ホントそそっかしくて
あのっ
ご挨拶遅れまして・・・
私　山脇麻衣(やまわきまい)と申します
主人と二人で越してきました
夫婦共々よろしくお願いします


これは・・・
まいったな


足を洗うと決めた矢先にこんな・・・
ムクムク・・・


――あっ　じゃあ
俺はこれで・・・
えっ？　あっ


――いや待てよ
逆に考えれば
罪過に塗れた日々の最後を
〝最高の獲物〟で締め括るってのも
いっそ後腐れなくて・・・――


アリでしょ

山脇さんと出会ってから
数ヶ月――

あれから
意外にも彼女は
よく家に遊びに
来るようになった

お節介な母があれこれと
彼女に世話を焼くうちに
すっかり打ち解けたらしい

一方
俺はといえば
"獲物"との距離が
近くなり過ぎてしまったことにより
リスクの面から一時は犯行を
断念することも考えたが・・・

知れば知るほど
母とは対象的に
穏やかで気が優しく
底抜けに御し易そうな
格好の獲物を前にして
生殺しのような現状に耐えかねた俺は
とうとう数ヶ月越しの悪しき企みを
強行することにした

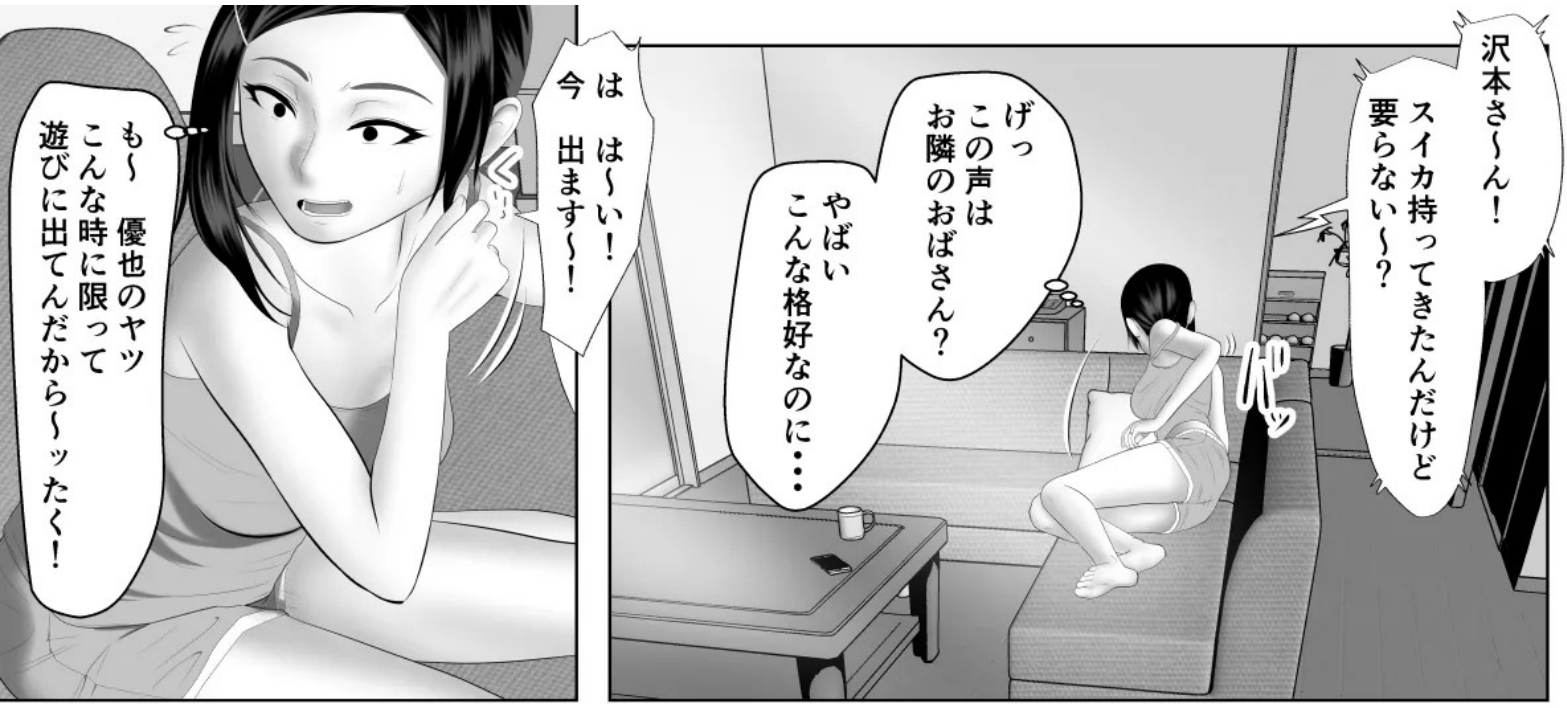
沢本さ～ん！

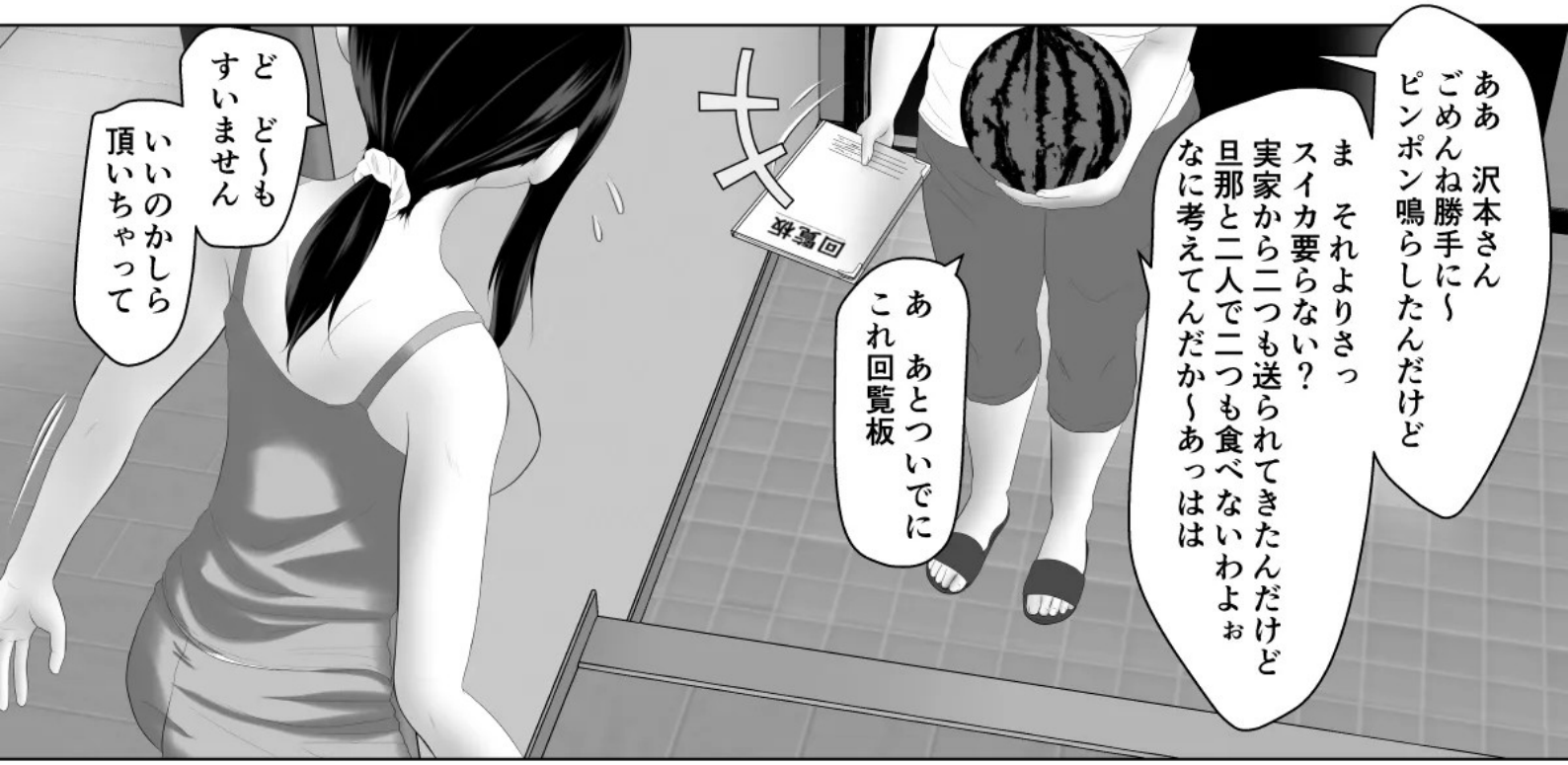
沢本

Zzzz

沢本さんってばちょっと～！

むにゃ・・・


沢本さ～ん！
スイカ持ってきたんだけど
要らない～？
げっ
この声は
お隣のおばさん？
やばい
こんな格好なのに・・・
は～い！
今　出ます～！
も～　優也のヤツ
こんな時に限って
遊びに出てんだから～ッたく！

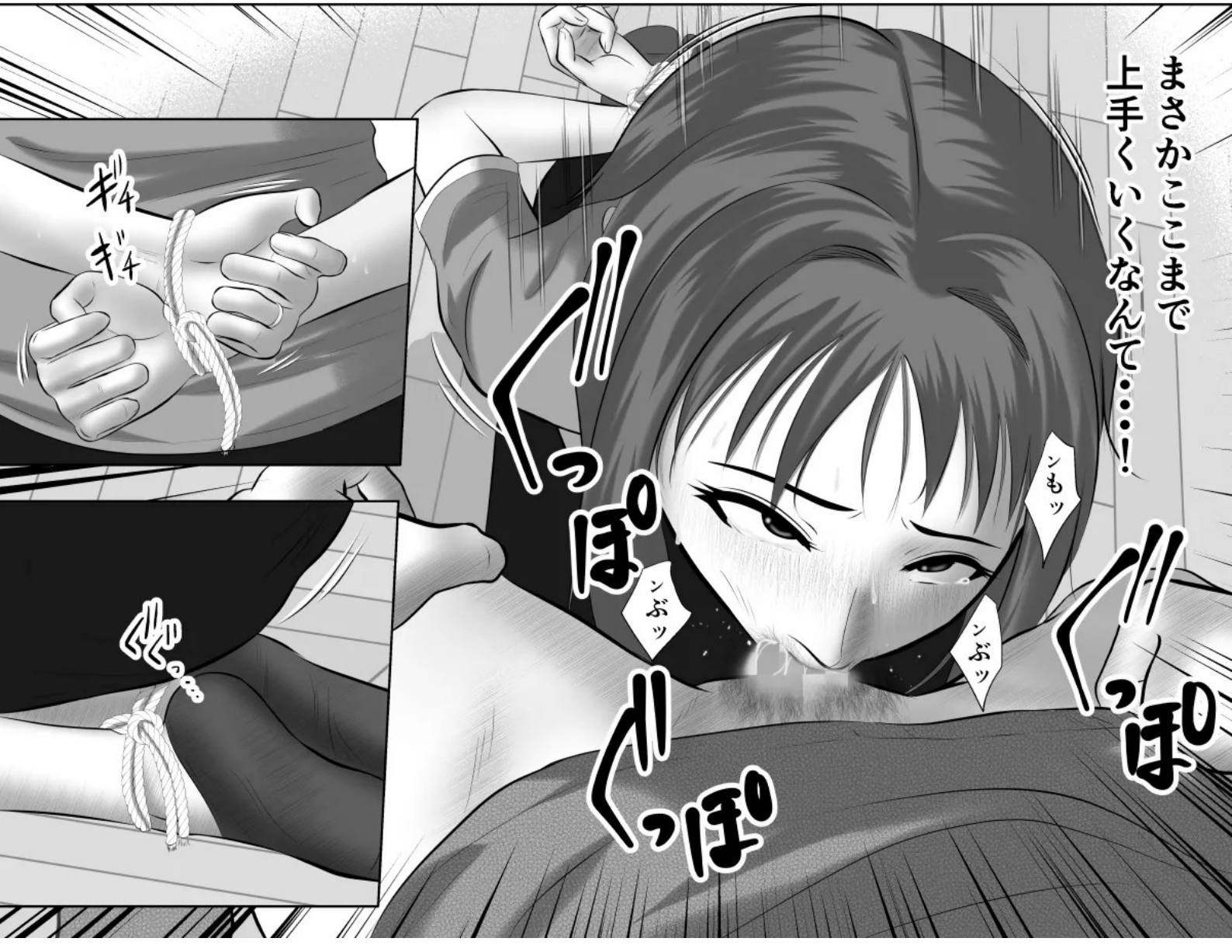

ああ　沢本さん
ごめんね勝手に～
ピンポン鳴らしたんだけど
ま　それよりさっ
スイカ要らない？
実家から二つも送られてきたんだけど
旦那と二人で二つも食べないわよぉ
なに考えてんだか～あっはは
あ　あとついでに
これ回覧板
回覧板
ど　ど～も
すいません
いいのかしら
頂いちゃって


この日
夏真っ盛り
大人たちにとっては
なんの変哲もない平日でも
学生にとっては一日中
自由の効く夏休み期間
ミ～ンミンミンミ～ン
山脇
――無論
この機を活かさない手はない


朝から裏の林に潜伏して
侵入の機会を窺えたのも
なお良かった


平日の真昼間
暑さで戸締まりも
杜撰になりやすい時期
それに加えて邪魔な男手は
外に働きに出ているときた


まさに好都合・・・！
ニタァ～


まさかここまで
上手くいくなんて・・・！
ンもッ
ンぶッ
ンぶッ
くっぽ
くっぽ
くっぽ
ギチ
ギチ


案の定・・・！
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっこぉ・・
究極に扱い易い質(たち)の女で助かるよ！


抵抗らしい抵抗すらなく
チ●ポを突き出せば素直に咥えやがった・・・
おそらく
下手に抵抗すれば
命を取られかねないとでも思い込んでいるんだ
ぐぼっ
ぐぼっ


しかし このどエロいフェラはどうだ
なんとかクチだけで満足させて早々に去ってもらおうという
淡い期待が透けて見えるような一心不乱の奉仕・・・
ねもぉ・・・ッ
ぬろぉ・・
健気(けなげ)だねぇ・・・
最高にそそる！
その目！
ちゅりゅ
ちゅっ


もし一発射精したくらいで
終わると思われてるのなら心外だな
あんたの旦那はそうなのかもしれないけど
俺はオッサンなんかじゃないぞ
この日に向けて
精子パシパンに溜め込んだできたから
さすがに早漏気味だけど
…まあいい
プルプル
我慢する必要なんかないもんな！
射精しても射精しても萎えることのない
逞しい●校生チ●ポを
今日はたっぷり味わわせてやるよ!!
んぼッ!?
んゴォ
俺の犯り納めだ！
時間の許す限りどんどんイクぞ！
おぶッ
ふごぉッ
んごッ
んごッ
とりあえず先ずは一発
さあ飲めよ！　飲め飲め！

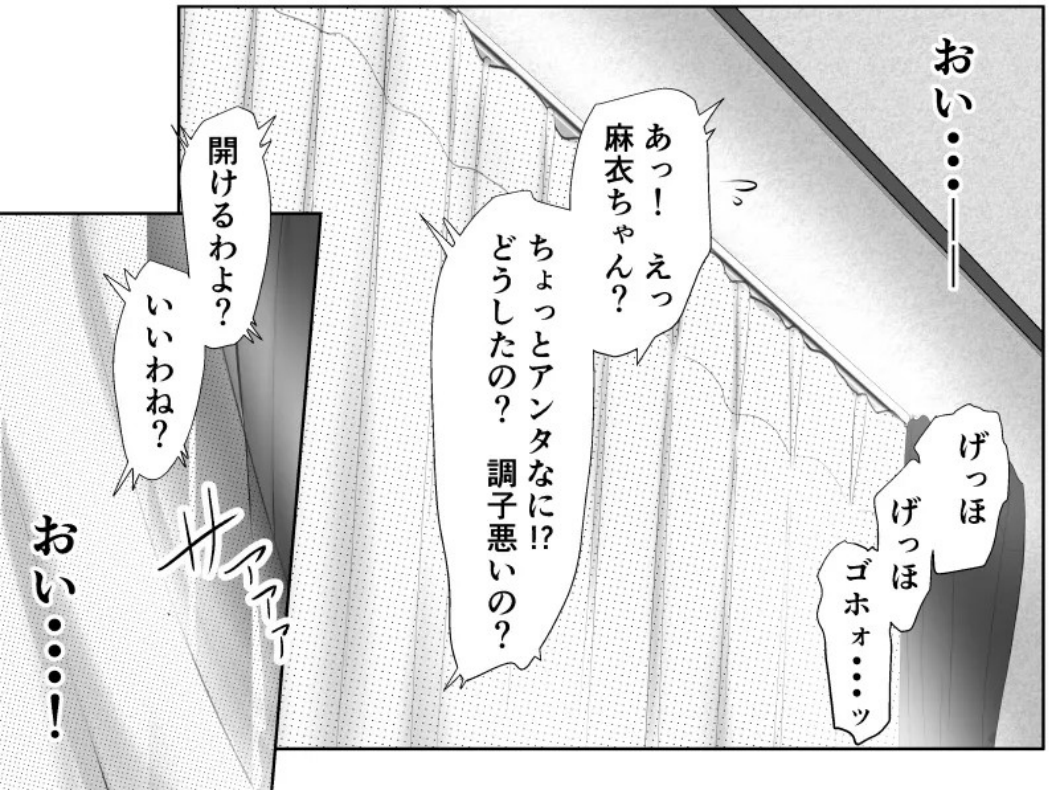

うぉおおお出る出る出る出る！
出ッ——
ビクッ
んぶぅ・・・ッ!?
どぴゅっ
ピンポーン…
…るぅ・・・ッ・・・？
ピンポ～ン…
ピンポ～ン…
ぴくん
ぴくん
ぴくん
んッ
んッ
ぶふぅッ
カクカク
カクカク
どくんッ
どくんッ
ピク ピク…
くッ…
くふッ・・・？
おごッ
ぐごッ
ごッ・・・
ごきゅッ・・・


…もう行ったか？
焦らせやがって


まあ　自宅で犯る以上は
この程度の事態は想定していたさ
早い話　居留守でやり過ごせばいいだけのこと
それこそ今ごろ会社で働いているはずの
旦那が帰って来たりでもしない限り――
プルプル
ブブッ
ブルルル
ブルルル


ごめんくださ～い！
回覧板持ってきたんだけど
お留守～…？
コンコン
ヘンねぇ
窓開いてるけど…
ピンポ～ン


～ぶほぉッ
ビシャッ


おい…――
げっほ
げっほ
ゴホォ…ッ
あっ！　えっ
麻衣ちゃん？
ちょっとアンタなに!?
どうしたの？　調子悪いの？
開けるわよ？
いいわね？
ガチャ
アアアア
おい…！


ガラ…
なんで…？
よりにもよって　なんで今…
そんなどうでもいい用事を…ッ
……
母さん…！
え…なに…
あんた…
ちょっと…
パタッ
なにしてんのよぉおおお!!
ダダダンッ
〜〜ッッッ!?
ダンッ
ヒっ


――ッ！
ああっ　麻衣ちゃん
なんてこと・・・っ
うぅ・・・
和美さん・・・っ
ポロ…
ダンッ
ふぐぅッ
ニヤ
ス…
俺のスマホ・・・！


…無様ね
さっさと
その汚いモノ仕舞って
どこへでも逃げるといいわ
まあ　今すぐ通報するから
どうせ逃げられっこないけど
クソっ！
なんなんだよ
この展開…！


まさか母さんが庭から
回り込んでくるなんて
思うわけないだろ！
ズル ズル

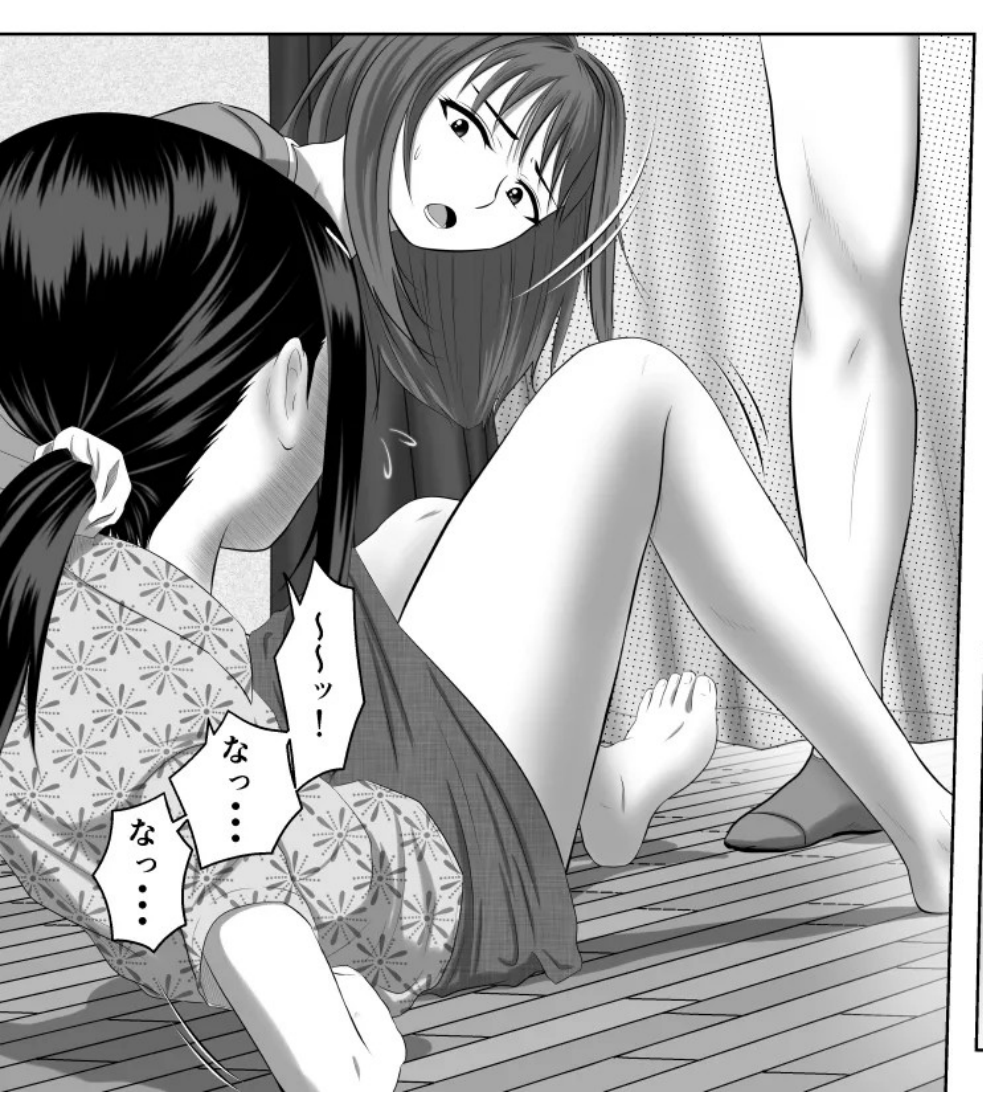

ああっ…
ズッ…ズッ
俺の人生が
急速に萎(しぼ)んでいく…

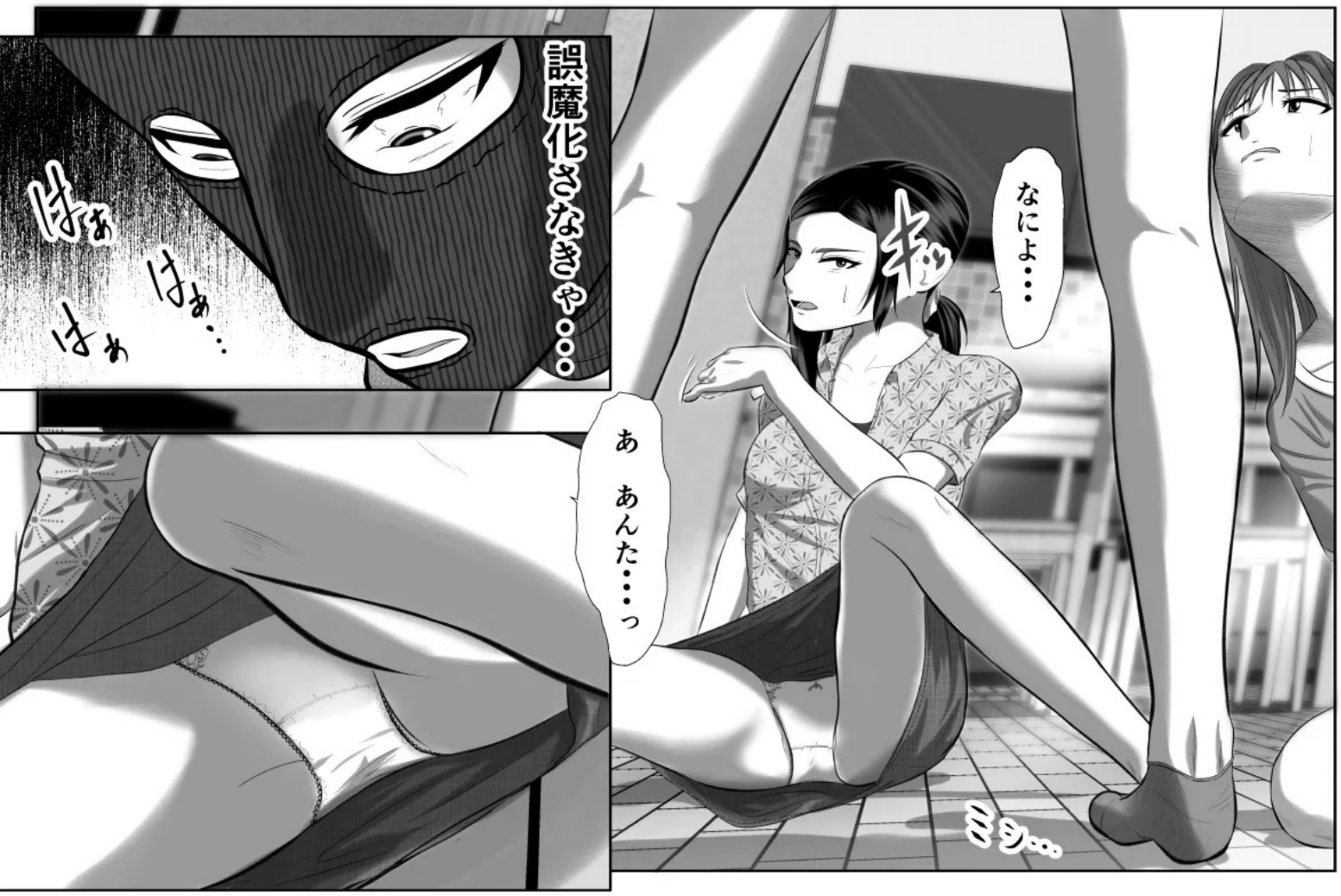

ガク
冗談じゃない…——
か　和美さん！


こんな所で
人生詰んでまるかぁあああ!!
ぐりゃッ


くっ…！
離しなさい
この変態！
鬼畜！
そんな気味悪い変装までして…ッ
捕まらないと高括ってるわけ!?
世の中ナメんじゃないわよ！
このッ――
卑怯もッ…
の…？
…優…也？
クンッ…
えっ…
えっ…
ちょ　ちょっと
あんたっ…えっ？
…？


か 和美さん
突然なにを・・・
か 顔見せてみなさいよ！
ドクン
ドクン
ドクン
ぐんッ
ぐぐぐーッ!!
きゃっ!?
ドクン…


あっ！
ぐッ・・・
ズンッ
〜〜ッ！
なっ・・・
なっ・・・


なによ…
あ あんた…っ
ミシ…
誤魔化さなきゃ…
はぁ
はぁ…
はぁ


今ここで疑念を払拭(ふっしょく)しておかなければ手遅れになってしまう…！
なによぉ…！
ピシャッ
ビクンビクン
ゆ 優也…
でしょ…？
コクッ
!!
ドクドクッ


顔も見ていないくせに！
イ　イヤ！
声一つ聞いていないくせに！
や　やめてっ
おねがい！
あなたっ…
ゆ　優也くんじゃ…ッ
誤解だ！
邪推だ！
憶測だ！
気でも触れたの優也!?
ねえ!?
あんた優也なんでしょ!?
んッ…
くにぃ～
どこの世界に実の母親を
襲う息子がいるって言うんだ!?
ちゅむ…
ちゅッ
ちょ　ぁ待ッ…
イヤっ　イヤよぉ…！


んっ
ちゅっ
んんっ
ひっ…!?
なっ…
ぁちょっ…ちょっ…
んあっダメダメ！
ふあッ
あっ
あっ
あっ
いやぁ～ッ


まっ 待って
おねっ・・・おねがっ・・・
おっおっおお・・・ッ
ちゃニュ
ちゃニュ
ちゃニュ
ぬちゃッ
ぬちゃッ
ふッ
うッ
痛いッ


どこまでやる・・・？
ズル…
あっ


どこまでしたら・・・
母さんの〝思い込み〟は
リセットされる・・・？
・・・・・ッ
にちゃ…
ぷるぷる


躊躇うな！
犯る
待って！
ちょっと待って！
もう犯ってやる！
毒を食らわば皿までだ！
ウソでしょあんた！
これで俺の正体が息子だという盲信は跡形もなく消し飛ぶ…！
冗談じゃないわよぉ…！
母さんとセックスしてやる！
やっ
やっ
ゆぅ…や…ッ


すぶぅ…
はっ…
ヒクヒクン…
ああ
挿れた…
母さんに俺が…
あ…ぁ…？
ゆっさ
ゆっさ
ゆっさ
挿入(はい)ってる…
ずっちゅ
ずっちゅ
母さんに…！
ギリッ
…くッ


これ・・・
母さん・・・だよな？
へぶッ
抜ッ・・・け・・・ぇ!!
ヘコヘコ
女だ・・・
ヘコ ヘコ
ハァ ハァ
んあっ
はあっ
ぐぐっ
温(ぬく)くて・・・
蕩(とろ)ける・・・ッ
うっ うぅ～ッ
動ッ・・・くなぁ・・・ッ
ふうッ くッ
く・・・ッ
あんたぁ・・・！
タダじゃおかないッ
ズッ
ズッ
ちゃんと女だ・・・！


このぉ・・・っ
抜け！
抜け！
ゴッ
ゴッ
ズコ
ガタガタ
〜〜ッ
今さら後に退けるかよ・・・！
むぐぅッ
やっ
やめっ・・・
くッ
くふッ
くあぁんッ
なんとしても騙し果せなければ嘘だ！
ぱすッ
ぱすッ
ぱすッ
ぱすッ
はあッ
かはッ
実の母親にここまでやってるんだぞ！


たとえ警察沙汰は避けられなくとも
前科も前歴もない俺がDNAや指紋から
いきなり特定されることはないはず…
ひぎぃ…
ぐぅッ
ぐッ
ぐッ
ひぅ～～ッ
パン
パン
パン
それこそ母さんと山脇さんさえ
俺の名前を出したりしなければ
捜査線上に浮かびさえしない…はず！
いけるはず…
はっ
はっ
激しッ…く…ッ
すっ
すすっ…
するなぁッあッあ～ッ
パン
パン
パン
逃げ切れるはず…！
……ッ
ずちゃ
ずちゃ

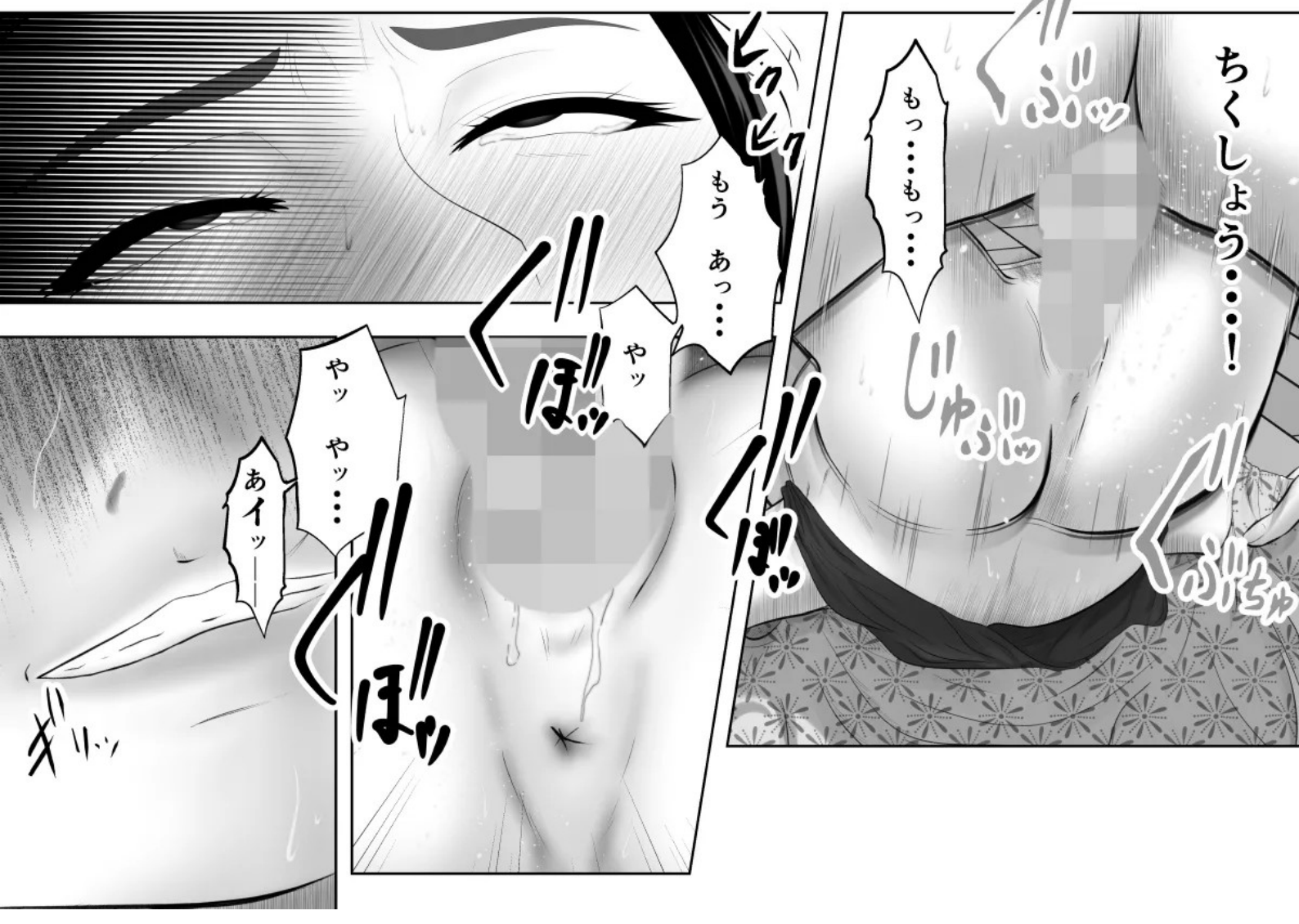

パンッ
――んッ！
クソっ！
今さらなんのつもりだ！
隅っこで震えていればいいものを…！
ぐぐ
ゴッ
くッ
くッ
今は母さんに集中させろ！
ズルッ
あっ
はあんッ
んあっ
ああッ
クソっ！
クソっ！
クソがあ！
んおッ
すぽッ
おおッ
ずぽッ
おおおッ
にちゃッ


すべては母さんが悪い
どうしてよ優也ぁ!?
ハァ ハァ
どうして
おかーさんにッ…
こんなぁッあッあッ
ハァ
山脇さん一人なら
どうにでもなったのに…!


せめて少しでも…
止まって優也ぁッ
おねがいぃ…
ぱんッ
ぱんッ
ぱんッ
ほんの数センチでも
母さんの頭の中の疑念を
別のベクトルへ逸らすことが出来れば
状況は好転するはずなのに…
ハァ ハァ
優也ッ
優也ぁ!


いつまでも…
グィン…
あぐッ
俺の名前を呼ぶなぁ…!
じゅぷッ
ふッ…
くはぁああんッッッ
みし


騙されたフリすらしてくれないのかよ…
息子の人生が終わってもいいって言うのかよ…!
あッ
ああッ
ふああッ
ゆっ ゆっ
優…ッ
也ぁあッあッダメッ
ほんと待ッ…あッ


ちくしょう…!
もっ…もっ…
もう あっ…
やッ
やッ やッ…
あイッ


すぽっ
・・・ンッグうう〜ッッッ
レレレッ
きゅぎゅぎゅ
レレレッ
ベロベロ
――ッッッ!?
〜〜ッ!!
グチュ
ぐぐぐっ
うぅっ
うぅっ
きゅぎゅ


なっ…えっ？
なんだ…？　え…？
ビクッ
ダンダンッ
ズサッ
くッ
くッ
ビクン
ビクン
プシャアアア…
ヒッ…
ガクガク
ブルル
フッ…ンッ
…ッ！
もしかして
これ…
本当に…
優也くん…だったのね…
どうして…っ
イッてる…のか…？
母さん…
フーッ
フーッ
ヒク
ヒク…


なにそれ・・・
ハァ
ハァ
ハァ
肝っ玉の座った
男みたいな母さんが・・・
なんだよそれ・・・！
ハァ
ハァ
ハァ
シコ
シコ
シコ
シコ
シコ
シコ
カクカク
カクカク
ビュッ
ビュッ
ビュッ


か 和美さんっ
はぁ はぁ はぁ
ヒクッ
ビクッ
…ッ …ッ
にちゃぁ…
……
はぁ
はぁ
はぁ
優…也…っ
はぁ…はぁ…
警察に…っ
…っ
…行きましょ
ギリッ
ははっ…
はは…は…？
ななっ なに正義ぶって…ッ
イ イったくせに…
息子に犯されて
イッたくせに！
オイなあ!?
どの面下げて――
にぃ～っ


あなたの
お母さんなのに！


お母さんなのに・・・ッ
もうやめて
優也くん！


ガシッ
ビクッ


・・・ふんッ！
きゃあッ


あぐッ


……
母さん…
もういい
わかったよ
ま 麻衣ちゃん…っ
ギッギッ
俺 腹を決めたよ
通報でもなんでも
すりゃいいさ
だけど…
――父さんや親戚連中は
これから
どうなるだろうな？
ピタッ
事件が表沙汰になることで
当事者ばかりか周囲の人間を巻き込んで
メチャクチャになっていくなんて話は
ざらにあるだろう？
…っ
そういう不条理な社会の現実を踏まえて
母さんだって腹を決めないといけないぜ？


この先　口さがない世間の好奇の目に晒されてどんな顔をして生きていくつもりなのか知らないけど
覚悟の上ならさっさと通報しろよ！
ククク
警察が到着するまでお互い何回イけるかな？母さんっ
イヤっ
お願いっもうイヤぁ！
ぬち
ぬち
パタ
パタパタッ
あっ
スキッ
あっあっ
ぶるぶる
んッ…
パン
パン
パン
はぁあああんッッッ


あ～すっげ！
膣内ぐっちょぐちょ
節操のない体！
最低だよ最低！
もはや"無理やり"とか
言い訳利くコレ？
ぴんっ
パン
パン
あっ
あっ
あっ
あ
あ
あッ
あ
あッ
はぁん
はぁッ
あッ
散っ々正義ぶっといて
これじゃあ母親の面目
丸潰れだよなぁ!?
息子にガン突きされて
アヘアヘ喘いでいるところ
おまわりさん達に見てもらうか!?
ぐッ
んぐッ
くふッ
くッうッうッう～ッ
ズイ
ズイ


ははははっ　おいおい
さっきまでの威勢はどうしたんだよ？
まるで力が入っていないじゃないか！
グィ
グィ
…ッ
…ッ
安っすいＡＶ女優みたいに
喘いでばかりでさぁ…ッ
ほっ
ほっ
そらッ
通報しろよ通報！
んほぉ!?
ぐりんッ
ぼるんッ
ぼるんッ
ぱーん
ぱーん
ぱーん
ひぃんッ
おおッ
ふおおッ
激しいの…ッ
だめぇえッえッえッ


はあッ
はあッ
はあッ
いつまで二の足を踏んでるつもり？
母さんらしくないじゃないか
…ッ
…ッ
ぬぶぶッ
ぬぶぶぶッ
パンッ
パンッ
パンッ
…ったく
しょうがないなぁ
ふあ…っ
ほっ
ほっ
ジュッ
ジュッ
ジュッ


あ あのっ・・・
バックン バックン
バッ
・・・ッ！
・・・ッ！
トンッ
バックン バックン バックン
ゴッ――
ひきいいいいい
クンッ
ビクッ
メキッ
ぐぐっ
パーン
パアン パアン
ハッ!?


――ッッッ!?
ッごめんなさぃ!
息子がイタズラしちゃってそのっ…
失礼しました!
ははっ
結局これイタズラで済んじゃうんだ?母さん的には
……ッ
あとのことはもう全部山脇さん次第ってことでいいんだね?
……
じゃあ山脇さんをなんとかしないと…ね?
あ あんたぁ!
~~ンむッ!?


この期に及んで
どんな言葉で俺を非難しようとも
なにも取り繕えやしないよ
母さんは今
逃げ出したんだ
息子に屈服したんだ
ちゅっ
ちゅむ
ズッ
ズッ
じゅぷ
にちゅッ
にゅッ
ズッ
ズッ
チラッ
んっ
んっ
んふーッ
道義心に満ちた母は――
パズッ
ん～ッッッ
んッ
んッ
しとしとッ
ずぢゅ…
ずぢゅ
パズッ
パズッ
ちゅッ
ちゅこッ
んっ
んむっ
ねろぉ…
父よりも厳しい母は――
はもっ
ちゅこぉ～ッ…
今日を限りに
いなくなってしまうんだ…
ピクピク
ピクピク
へ
へぁ…っ


麻衣ちゃんは・・・あっあっ
ゆ　許してくれないっ・・・わよっ
・・・絶対ッ
だからこそ力尽くで
黙らせるしかない
ゆっさ
ゆっさ
ぷあっ
はっ
はあっ
ちゅろ…
すっちゅ
すっちゅ
すっちゅ
そうだろ？
母さんッ！
ぐるんっ
～～ッ
し
知らないッ
そんなの
知らないわよぉおおお
パン
パン
パン
パン
ぶるんっ
ぶるんっ
あっ
あっ


はぐッ
ああッ
あああッ優也待って！
ダメっ　ダメダメ！
おかーさんまた・・・ッ
いいよ母さんッ・・・俺も・・・ッ
一緒にイこう！
今度は自分の意志で・・・ッ
ほら！　腰振って！
ずっちゅ
ずっちゅ
ずっちゅ
ぺチぺチ
ビビビっ
んおッ
ほッ
ほおッ
ほおおッ
ばるんばるんっ
ぶぼッ
ぶぶッ
ぶぶぶッ
ダン
ダン
ダン
ソク…
もッ
あッ
あッ
あ～イキそイキそイキそッ
あッ
あッ
・・・ッ・・・ッッ
ゾクゾクゾク…


ピク ピク
あ♡
イクッ
ぐちゅ
イクッ
どくん
どくん
イクイクッ
キュンキュン
ぬぽっ
どくん
どくん
イクぅ♡
ビタッ
ビタッ


はぁ
はぁ
はぁ…
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
山脇さんの旦那が帰ってくるまでに済ませなきゃね…
はぁ
はぁ
はぁ
……
母さんは一応気を失ったフリでもしてるといい
大丈夫上手くいくよ
…待って優也
そ その…
な 膣内(なか)に射精(だ)すのだけは…やめなさい
ビーンビン
ドロォ…
できちゃったら…元も子もない…でしょ？
おわり